



# 鎌養だより

(校長室より 第1号)

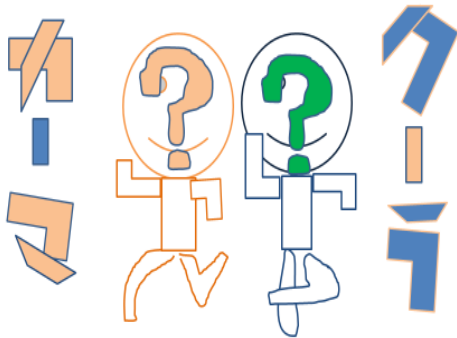
平成31年4月12日

鎌倉養護学校 校長 齋木 信也

平成31年度の新年度は、新元号の発表とともに始まりました。5日の始業式・入学式当日は、20度を越える暖かな日でしたが、風が強くポールに掲げた国旗や県旗が千切れそうなほど激しく翻っていました。今年度の第1号では、今年も始業式と入学式の学校長のコメントを特集しました。学校教育計画のご紹介や学校目標のご案内は後日改めて「特別号」として保護者の皆さまにお届けします。

## 始業式・校長挨拶（抜粋）

みんながつくってくれたキャラクター



みなさんおはようございます。今日から鎌倉養護学校の新しい一年が始まります。新しいお友だち、新しい先生たち、新しい職員の皆さんを迎えて、春の花が一つ一つ咲きそろうようにゆっくりと歩み始めましょう。

今年度も 小(3名)中(8名)高(53名)合わせて64名の新1年生を迎えることができました。みなさんには、上級生として、またお兄さんお姉さんとして、新一年生を温かく迎えてくれること、優しく導いてくれることを期待しています。〈略〉

昨年度は皆さんに40周年記念のイメージキャラクターづくりに参加してもらいました。本番のお祝いのイベントでも、いろいろな形で参加してください。

## 今年度の鎌倉養護学校

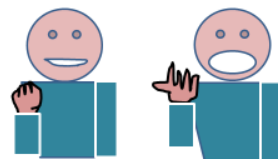
今年度の児童生徒数は昨年度とほぼ同じ232名です。ここ数年の推移は、<209名（平成25年度）、214名（平成26年度）、228名（平成27年度）、231名（平成28年度）233名（平成29年度）233名（平成30年度）>と漸増傾向から横ばい状態です。

着任した教職員のみなさんは合わせて35名。今年はまだこれまでより看護師さんの人数が増えて、常勤・非常勤の看護師さん7名が配属されました。（ただし、非常勤の看護師さん1名についてはまだ任用がされていません）

大谷副校長は平塚養護学校の副校長として転任され、平塚盲学校から鈴木副校長が着任されました。3月末で退職した齋木は今年度再任用校長として続投します。どうぞ、よろしくお願ひします。今年度も敬称教育と手話の紹介は継続します。

## みんなで、チャレンジ...

右手をつぼみの形に...ゆっくり開きながら前に



れ...い

わ

## 入学式・校長挨拶（部分）



新入学の児童・生徒のみなさん入学おめでとう。そして、鎌倉養護学校へようこそ。今年、桜のつぼみが一向にふくらまず、祈っていました。でも、今年も、学校の前庭の山桜だけは皆さんが来るのを待っていたかのように、ゆっくりと開花しました。

山桜の白く可憐な花びらが今日も風にそよんでいます。みなさんは鎌倉養護学校にやってきたキラキラと輝く新しい風です。

鎌倉養護学校はみなさんのキラキラするエネルギーが未来を生きる力として大きく育つよう、全力で そしてじっくりと育てていきます。今日から一緒に学びあいましょう。（後略）

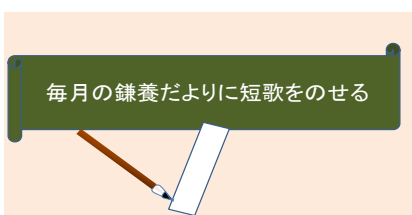
## スクールバスが変わりました

保護者の皆様にはすでにご案内のとおり、今年度から SB は丸大観光に大幅な業務移転をすることとなりました。皆様には新型バスの投入ということで少なからずご期待をされていたことと思いますが、3月末の試乗会から実走に至る本日まで、保護者の皆様を始め教職員からも通路スペースや座席間隔、座席の可倒域、乗降時のスロープの着脱など、種々の課題をご指摘いただいております。

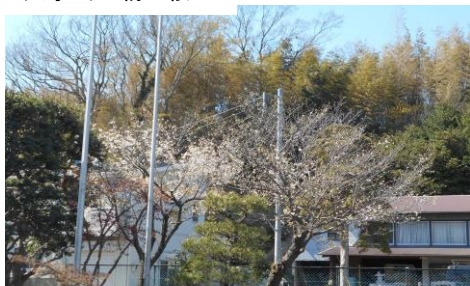
学校として早急に改善の対応ができる課題から順次解決に取り組んでまいります。皆様にはご憂慮やご心配をおかけして大変恐縮しております。引き続き課題点のご指摘と改善のご要望につきましてご連絡いただきますようお願いいたします。



### 校長先生の目標



入学式の朝の桜…



改元騒ぎに世の中がフィーバー（古い？）しています。平成がほぼ30年で幕を閉じる中、教師としてまだまだ新米だった私が昭和から平成へと元号が切り替わる中に身を置いていたその当時、携帯電話もインターネットもハイブリットもハイビジョンもなく、もちろん PC もありませんでした。ようやくワープロが世に出始めた頃で、英文タイプライターのように日本語が打ち出せる便利さに感動したものです。

花はまだ はなはまだかと たずねれば

令和の朝に 咲き初めにけり

今年度は、養護学校への就学が義務化されて40年となります。令和の元号発表とほぼ同時に「令和」という手話が新聞やテレビで紹介されました。このスピード感と同時性は30年前には考えられなかったものです。障害者権利条約の施行や手話言語条例といった法令が整備される中、インクルーシブ教育の推進の拡大と共に、障害児・者教育の益々の専門性を問われる時代となっています。令和の時代は特別支援教育の正念場だと感じています。